

聖使命会費取扱者となって、“すべての人々を幸福に導く聖使命会”に縁ある方々をおつなげしましょう！

聖使命よろこびの集い 〈取扱者研修会〉

日 時：令和7年 **1月21日**（火）10:00～12:20（予定）

ご 指 導：三浦 晃太郎 教化部長 他

開催形態：生長の家千葉県教化部（大拝殿）で開催
Zoomによる配信も行います。

[ZoomID：851 7046 5395 / パスコード：0531]

テキスト：『新版 菩薩は何を為すべきか』
「聖使命会員の手引き」※テキストは変更になる場合があります。

参加対象：聖使命会費取扱者

奉 納 金：300円以上随意

「神への献金をすることは
最もすぐれた感謝行である」

谷口清超 先生

（前略）私達の実相ほんとのすがたはすべて神の子でありますから、どうしてもその感謝を具体的な行動にあらわして行かなければならなくなるのであります。（中略）そこで古くから献金ということが神に対して行われていますし、労働力を以て神に奉仕するとか、或は各人の労働をもって得た貴重な金銭や財宝を神に捧げるという事が行われて参りました。このようにして、私達が神に対して感謝しているのであるという事を具体的な行動に表わしますと、実におどろくべき事には、私達が神に捧げた以上の幾十倍幾百倍かのものが与えかえされて来るのであって、それはこの献納運動をおやりになった方はどなたでも体験なさることです。何故なら、吾々が「神に感謝して什一じゅういち献金を納めよう」という「感恩報謝」の心を起しますことによって吾々の心の目が開いて「神の心」があらわれて来るからであります。（中略）それ故人様に「神に対する什一献金」をすすめて歩くという事は、単に物施を勧請ぶっせ かんじょうすることではなく、「法を施すほどこす」行為であり、「物を施す」ところの行為にもまさるすぐれた感謝行であると申すことが出来るのであります。

『愛は凡てを癒す』136頁～137頁より